

/proc 以下にサーバ情報様々

sudo ls of -i:80 - 80番ポートの動いている
プロセス(?)

↳ これで動いているポートを確認!

ip a

↳ eth inet : 割り当てられている ip

VPCの作成

AWS

VPC 10.0.0.0/16

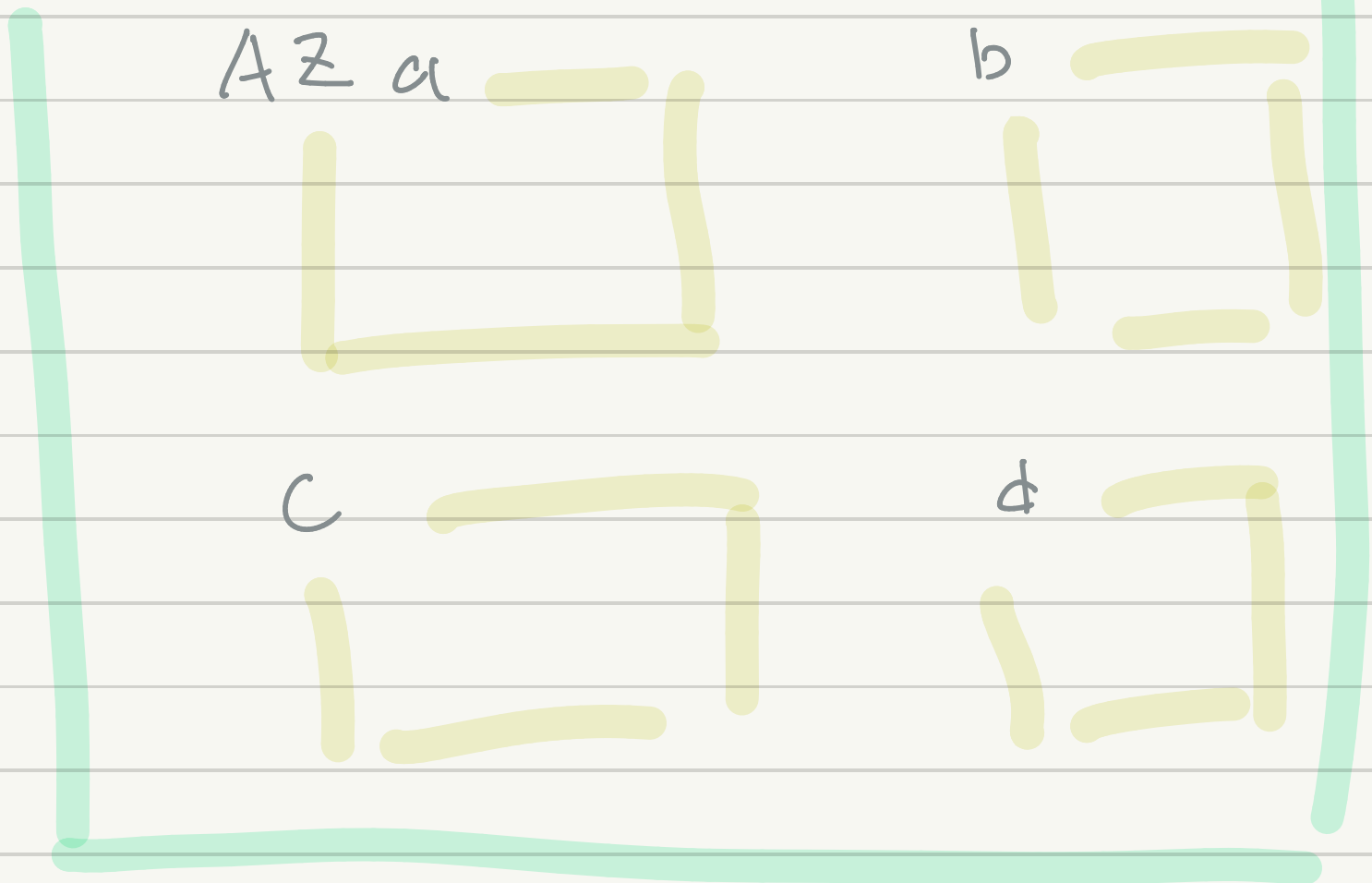
AZ

サブネット

- ・ ID などもアクセスできる所に置くのは危険!
 ↳ プライベートゾーンに / Aurora
 ↳ アプリのみ
- ・ 画像などのローカルに置くべきではない。
 ↳ S3 を使用
- ・ ローカルに置く読み込みのそごが置いてしまう。
 ↳ S3 で一元管理。

・ リージョンとアベイラビリティゾーン

リージョン (Tokyo)



なんで a ~ d 割って使ってるの?

A. 障害時対策の冗長化

Tokyo (日本) リージョン

に4つの
データセンター (AZ)
があって、好きな
所を使える。

・ DB の垂直分割のメリット

・ データセンターが死んでも片方が生きてることでサービス存続可能!

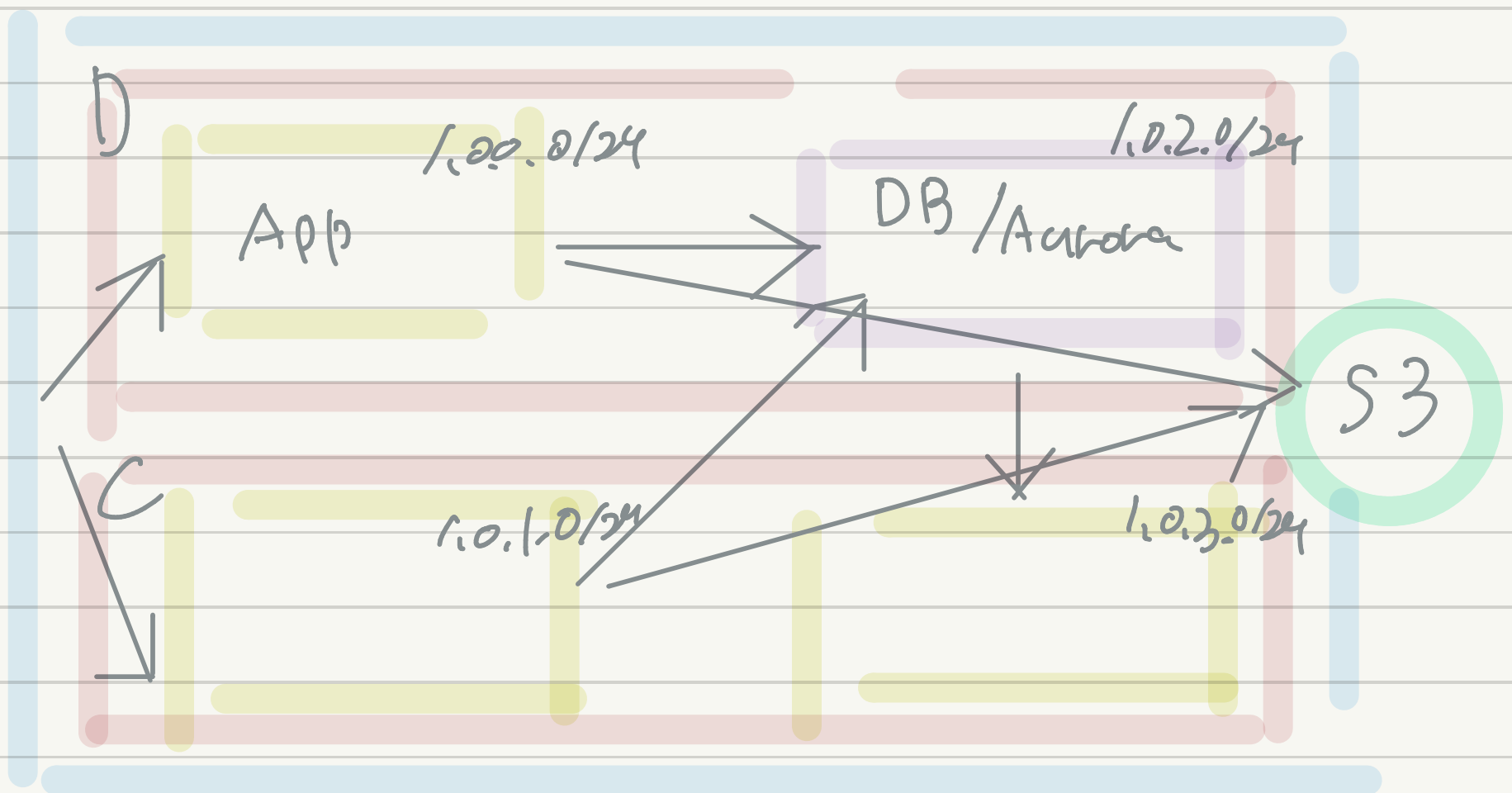
・ セキュリティグループ

SSH や HTTP のアクセス許可をグループごとに設定。
→ SSH:22, HTTP:80 許可のみ

・ AMI

インスタンスのイメージ。抽出元と同じインスタンスを作る... コピーの認識。

```
ssh -i key.pem -o option ec2-user@public1115  
IPv4
```



・ Aurora の設定手順

- Aurora 用セキュリティグループの作成 (Web - DB/Aurora)
- Aurora 用サブネットの追加
- 追加したプライベートネットの 1/2 Aurora インスタンスを作成
- `nslookup` `vp - ~` (Aurora エンドポイント) で確認

・ S3 の設定手順

- コシ-1 の S3 より パケットを作成
- ・ ACL の設定 (よしなに)
- 使用側で S3 のバケットとユーザの認識を合わせて投げる

